

1/24 SCALE

# AUSTIN FX4 TAXI

## オースチンFX-4 ロンドンタクシー



### 《PARTS》



別にお求めください。

ムギ球 2本

単 3 乾電池 1本

FA-130  
モーター

接着剤

ビニールパイプ(太)×1

転写マーク

51 電池受け金具 ×1

52 スイッチ金具 ×2

53 ビニロンギャー ×1

54 タイヤ ×4

55 シャフト ×1

50 リベット ×2

SLR 711F 2372  
SLR 711F TAXI  
1/24 オースチンFX4  
(ロンドンタクシー)

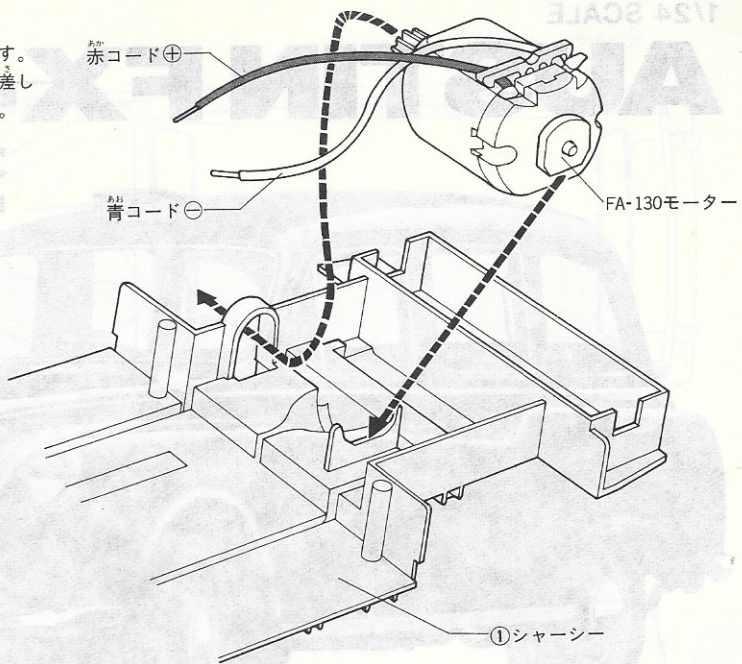
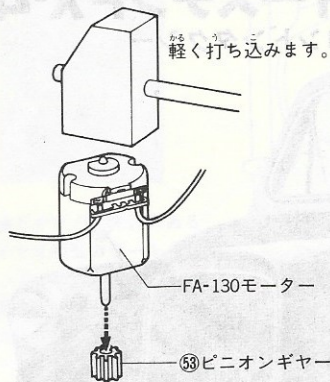
組立て方、遊び方の注意  
●組立てる時線を使い部品を動かさないようにして下さい。  
●組立てた部分(た)ならば僅くた型製品は確實にしてください。  
●ギヤの噛み合わせは先みをつけてから確認して下さい。  
●ギヤの噛み合わせを確認する時はAに印をつけて発射しないで下さい。

家庭用品品質表示法による標準商品表示  
製品名 1: 1/24スケールのミニオースチンFX4  
の 主 要 部 品 2: 大別により、部材をよくして下さい。  
3: 材質は指定しない様に表示して下さい。  
表示 重 523000 523006 525013  
部品を取引した空箱は処理を要したりしないよう破り落して下さい。

**LIMAI 今井科学株式会社**  
千240-91 静岡県浜谷6-18-10 私信箱373号 TEL(0542)61-4516(代)

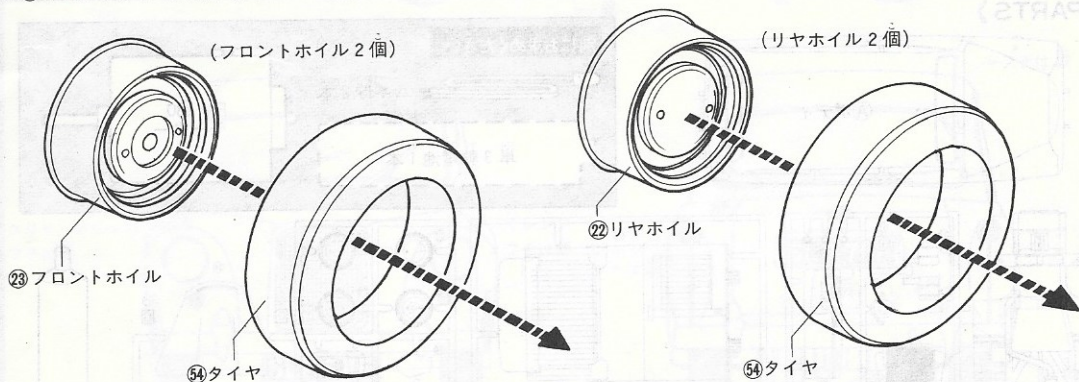
## 1 《モーターの取り付け》

- モーターに⑤③ピニオンギヤを打ち込みます。
- ピニオンギヤ側をまず、①シャーシに差し込み、図のようにモーターを取り付けます。



## 2 《ホイールの組み立て》

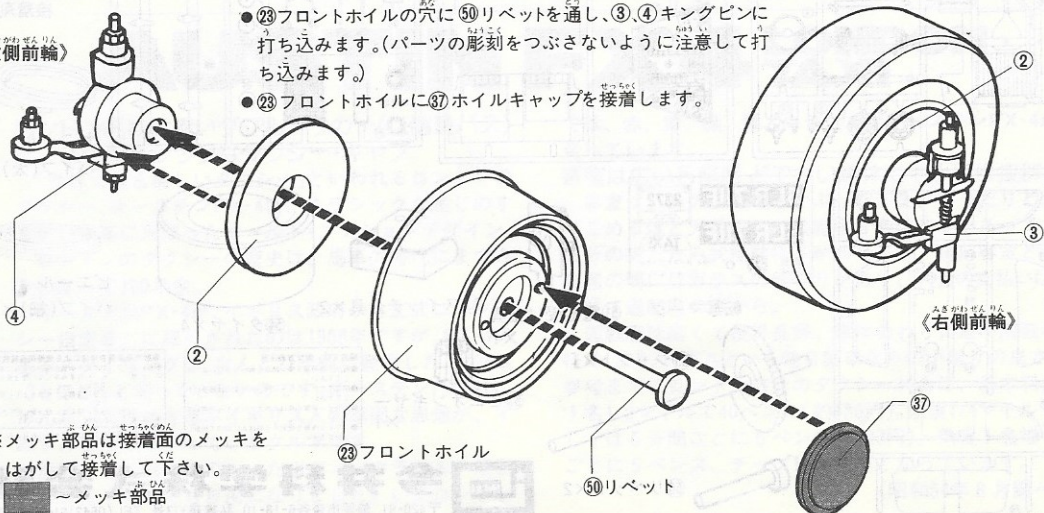
- ②③フロントホイール、及び②④リヤホイールに⑤④タイヤをはめ込みます。



### 《フロントホイールの組み立て》

- ③、④キングピンにそれぞれ②ブレーキドラムを接着します。
- ②③フロントホイールの穴に⑤①リベットを通し、③、④キングピンに打ち込みます。(パーツの彫刻をつぶさないように注意して打ち込みます。)
- ②③フロントホイールに③⑦ホイールキャップを接着します。

#### 《左側前輪》

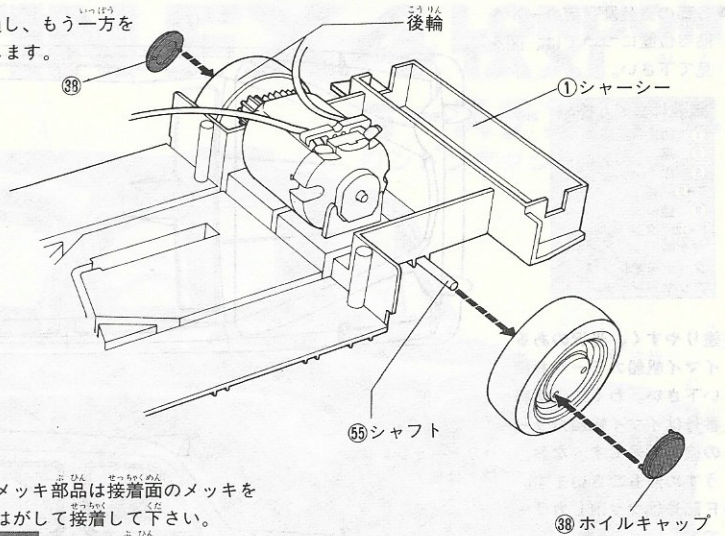
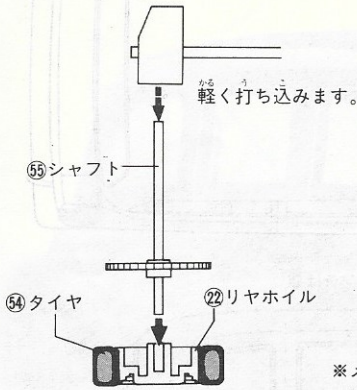


※メッキ部品は接着面のメッキをはがして接着して下さい。

■～メッキ部品

《リヤホイルの組み立て》

- 後輪に⑤⑤シャフトを打ち込みます。
- ①シャーシの後輪軸穴に⑤⑤シャフトを通し、もう一方を打ち込みます。③⑧ホイールキャップを接着します。



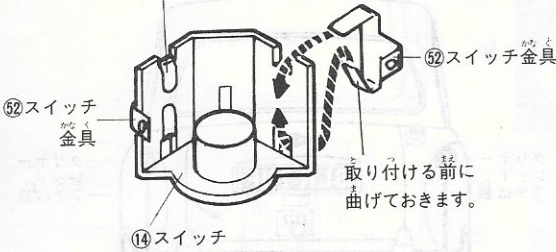
※メッキ部品は接着面のメッキをはがして接着して下さい。

■～メッキ部品

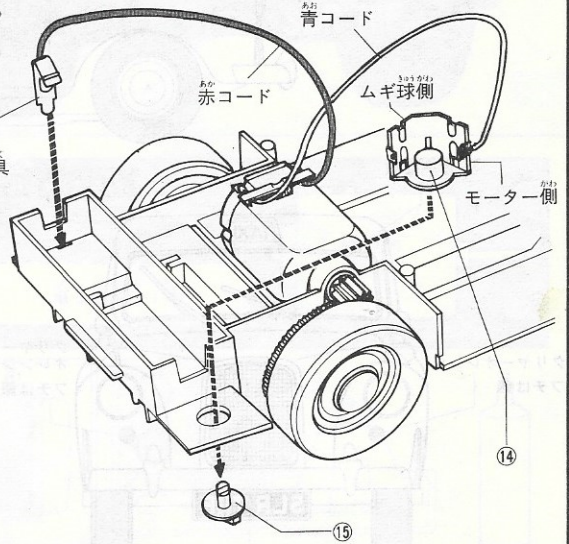
3 《電池受け金具及びスイッチ金具の組み立て》

- ⑭スイッチに⑤②スイッチ金具を取り付けます。
- ⑤①電池受け金具にモーターの赤コードを取り付け、青コードは図のようにスイッチの端子に取り付けます。

※ムギ球を取り付ける場合は金具をつけておく。



⑤①電池受け金具



《ムギ球の取り付け》

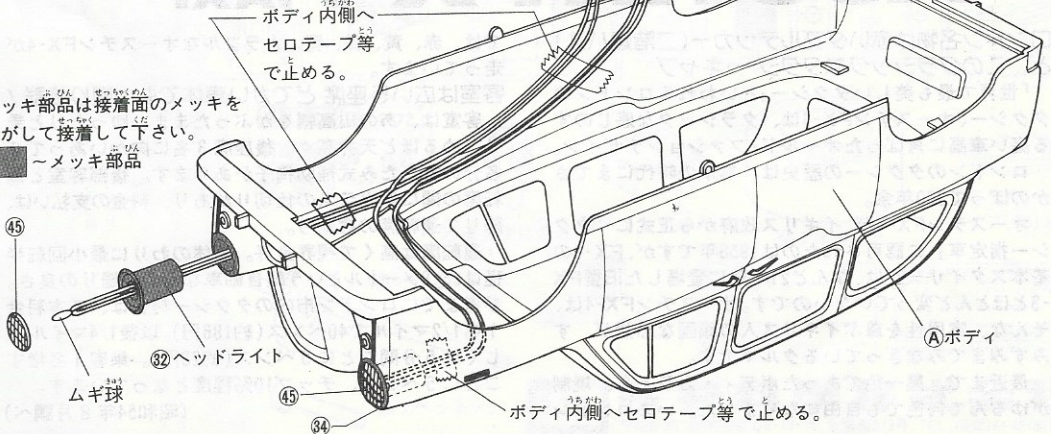
ムギ球を取り付けたい方へ………

- 図のようにムギ球を③②、③④ヘッドライトに差し込み、④⑤ヘッドライトレンズを接着します。

電池受け金具へ スwitch金具へ

※メッキ部品は接着面のメッキをはがして接着して下さい。

■～メッキ部品

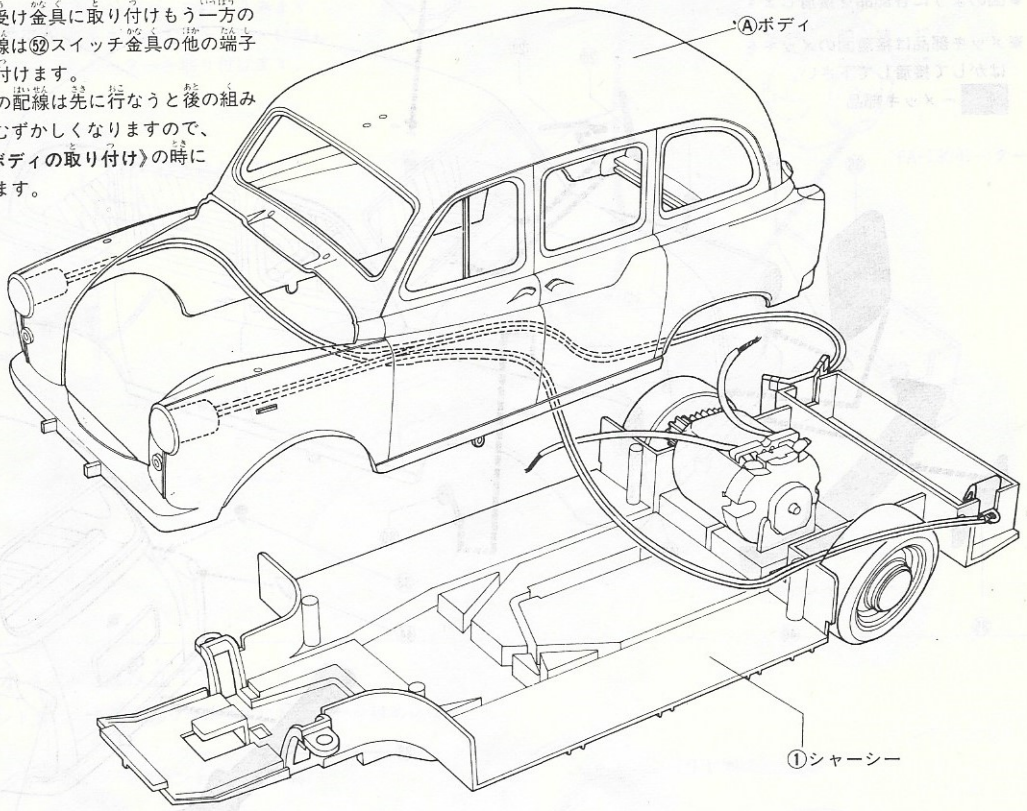


### 《ムギ球を取り付けた場合の配線》

- ムギ球のリード線を図のように一方を⑤電池受け金具に取り付けもう一方のリード線は⑥スイッチ金具の他の端子に取り付けます。

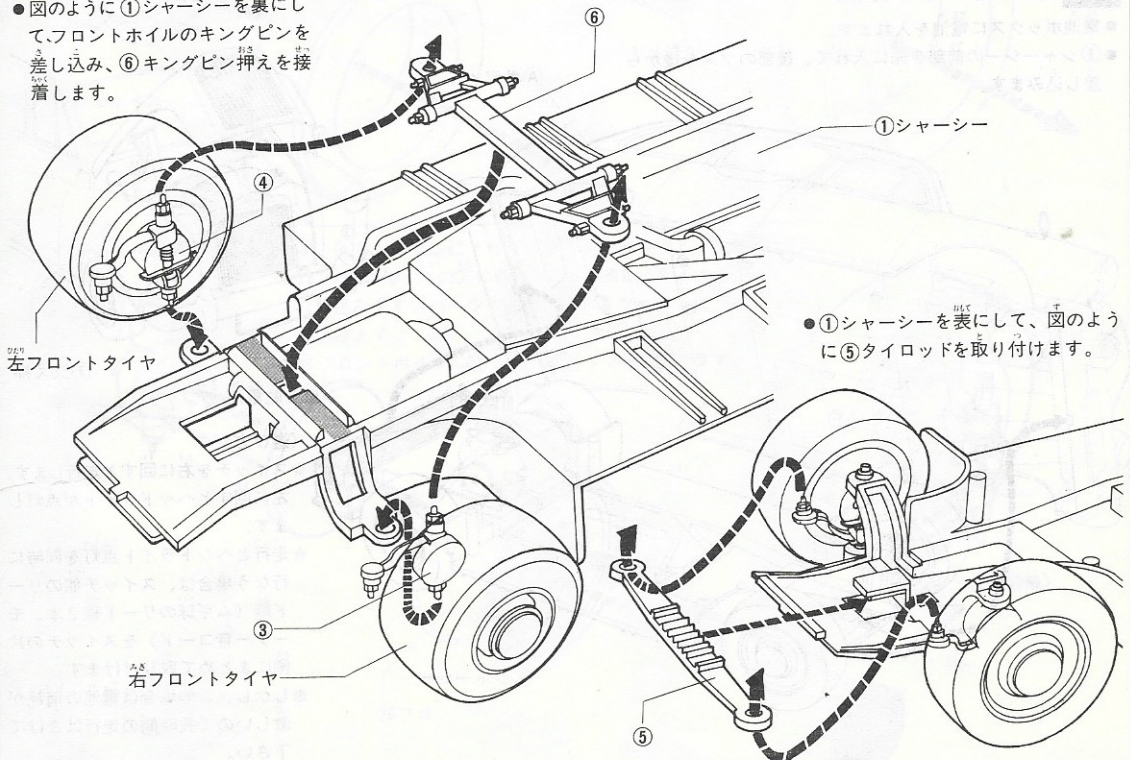
※ムギ球の配線は先に行なうと後の組み立てがむずかしくなりますので、

**10** 《ボディの取り付け》の時に  
行ないます。



### 4 《フロントホイールの取り付け》

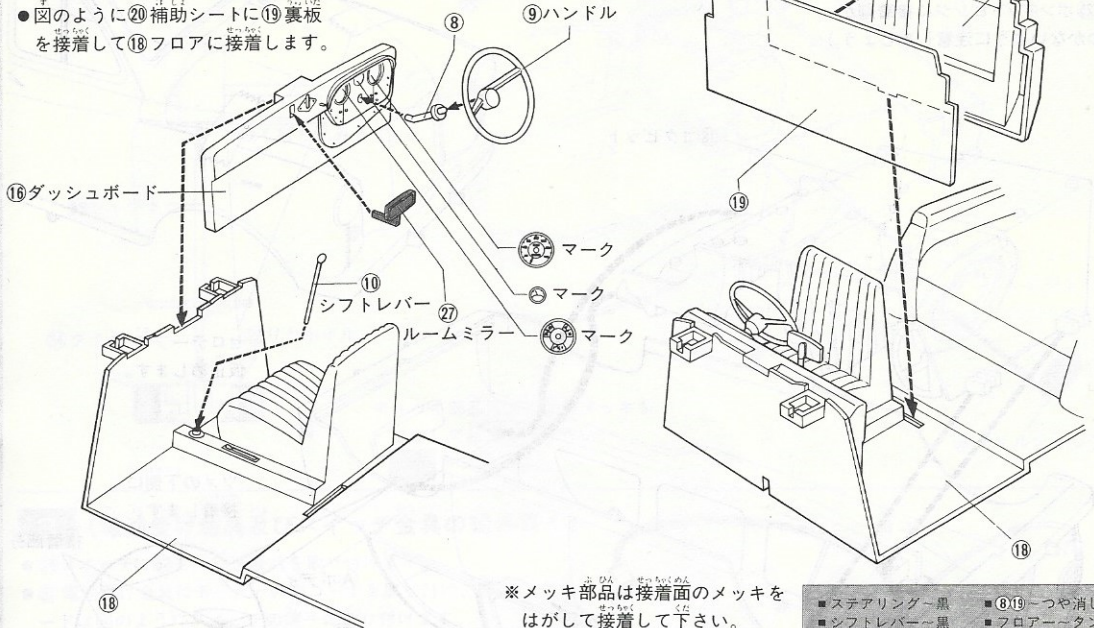
- 図のように①シャーシーを裏にして、フロントホイールのキングピンを差し込み、⑥キングピン押えを接着します。



- ①シャーシーを裏にして、図のように⑤タイロッドを取り付けます。

## 5 《ダッシュボードの組み立て》

- ⑬ダッシュボードに⑧ハンドルステア、⑨ハンドル、⑳ルームミラーを接着します。組み立てた⑬ダッシュボード、⑩シフトレバーを⑭フロアに接着します。
- 図のように⑳補助シートに⑲裏板を接着して⑭フロアに接着します。



※メッキ部品は接着面のメッキをはがして接着して下さい。

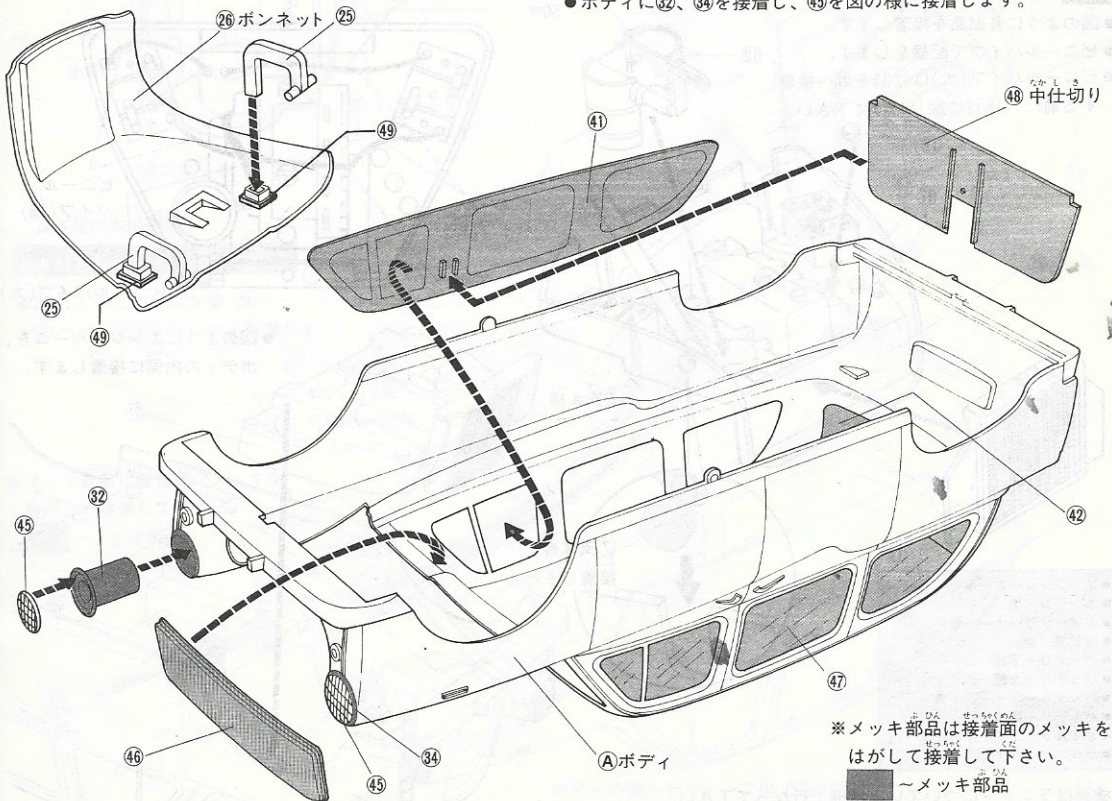
■ ~メッキ部品

- ステアリング~黒
- ⑧⑨~つや消し黒
- シフトレバー~黒
- フロア~アタシ
- ダッシュボード~黒
- シート~こげ茶色

※塗装はランナーについている状態で行って下さい。

## 6 《ボンネット及び窓ガラスの組み立て》

- ⑳ボンネットに⑲、㉑ボンネットヒンジを接着します。
- ボディに各窓ガラスを図のように接着します。
- ㉒中仕切りは⑳、㉓に接着します。
- ボディに㉔、㉕を接着し、㉖を図の様に接着します。

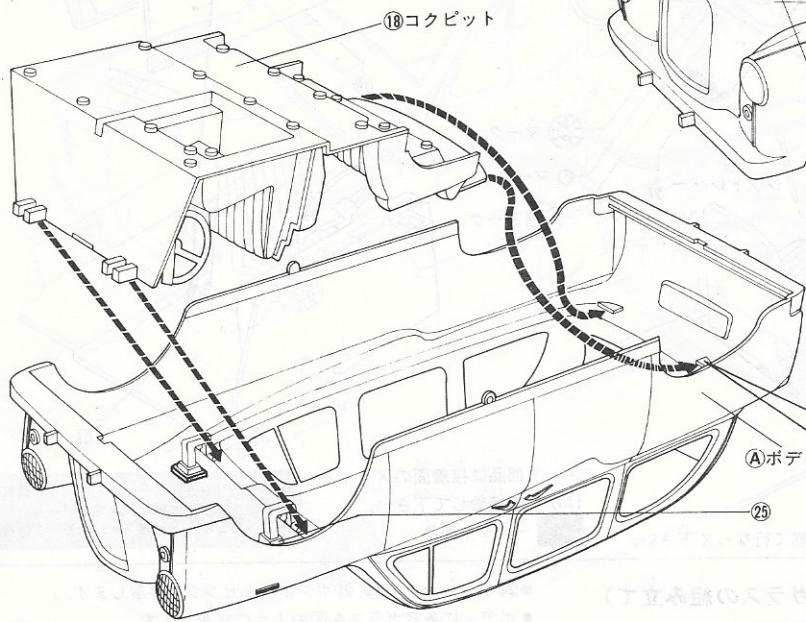
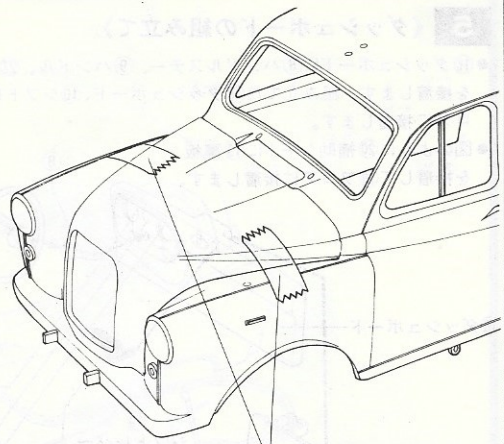


※メッキ部品は接着面のメッキをはがして接着して下さい。

■ ~メッキ部品

## 7 《ボンネット及びコクピットの取り付け》

- 図のようにボンネットをボディにセロテープ等で仮止めし、裏側から⑬コクピットを接着します。
- (⑫ボンネットヒンジに接着剤がつかないように注意しましょう。)



セロテープ等で仮止めします。

ツメの下側に接着します。

接着部分

⑬コクピット

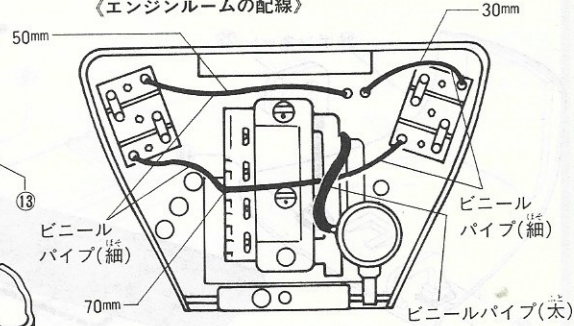
⑬ボディ

⑫

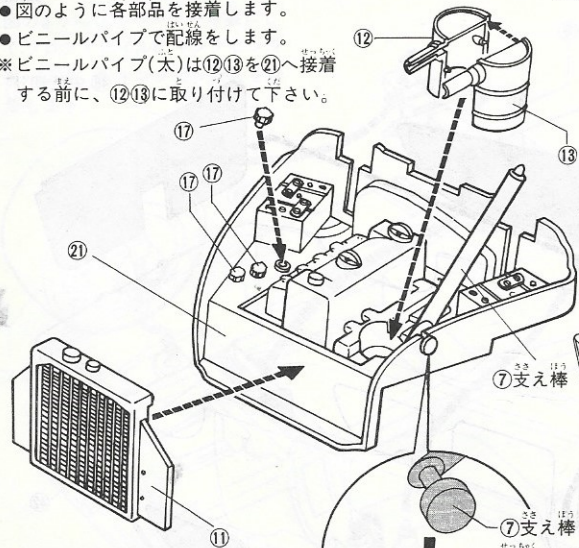
## 8 《エンジンルームの組み立て》

- 図のように各部品を接着します。
- ビニールパイプで配線をします。
- ※ ビニールパイプ(太)は⑫⑬を⑭へ接着する前に、⑫⑬に取り付けて下さい。

《エンジンルームの配線》



● 図のようにエンジンルームを、ボディの内側に接着します。



⑦ 支え棒

⑦ 支え棒

接着しません

- エンジンルーム～黒
- エンジン～黒
- エアークリーナー～黒
- 排気管～銀
- バッテリー下部～白
- バッテリー上部～赤
- バッテリーキャップ～黄
- バッテリー電極～銀
- オイルシリンダーキャップ～白
- ラジエター～黒

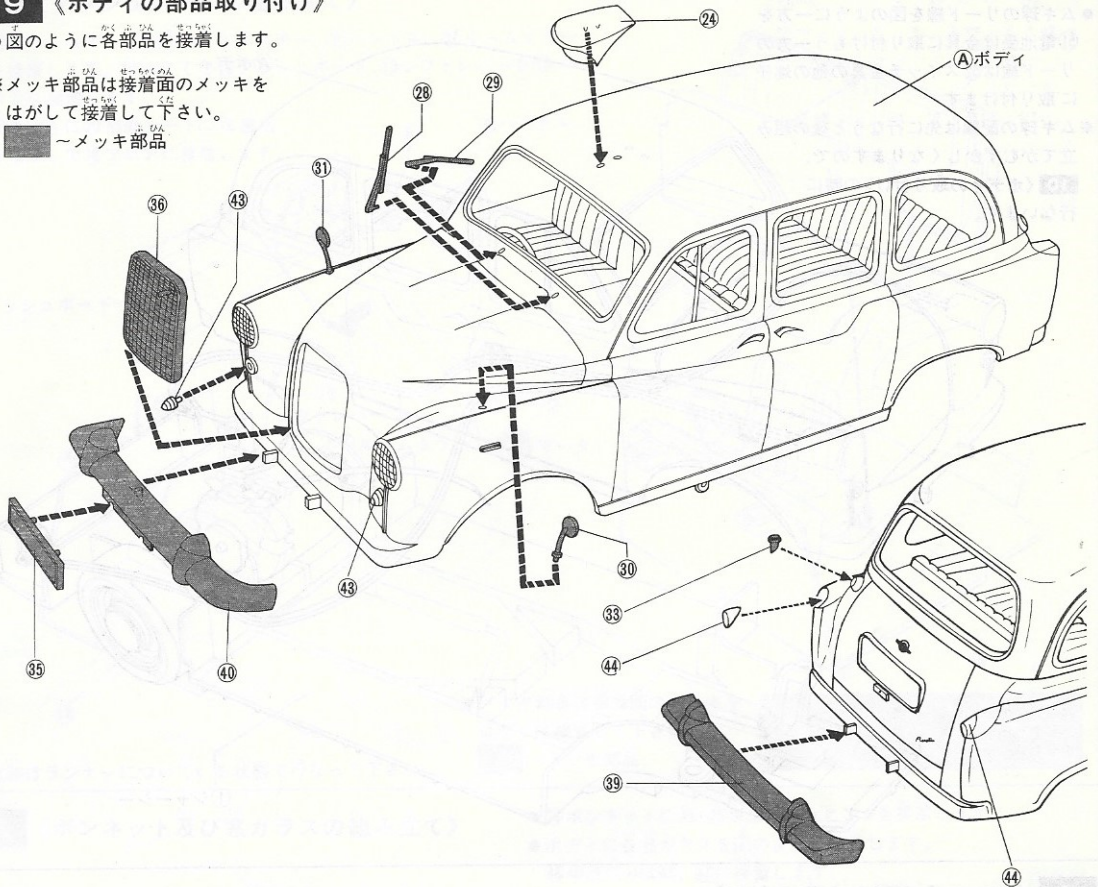
※ 塗装はランナーについている状態で下に行なって下さい。

## 9 《ボディの部品取り付け》

●図のように各部品を接着します。

※メッキ部品は接着面のメッキをはがして接着して下さい。

■～メッキ部品

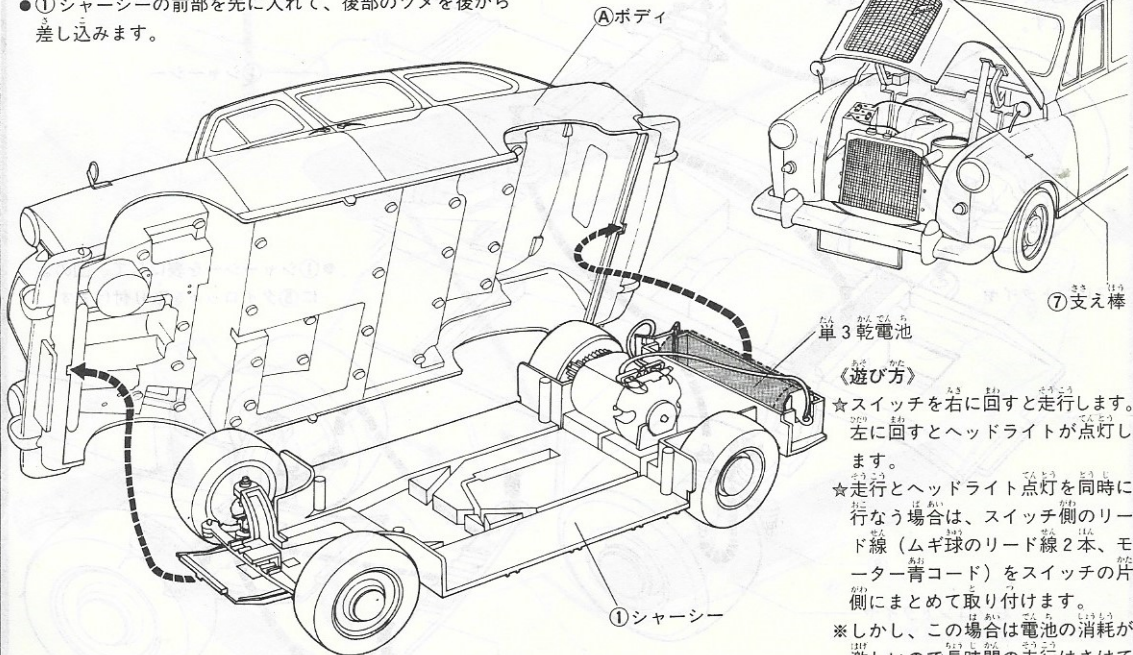


## 10 《ボディの取り付け》

●電池ボックスに電池を入れます。

●①シャーシの前部を先に入れて、後部のツメを後から差し込みます。

《ボンネットをあげる場合》



単3乾電池

《遊び方》

☆スイッチを右に回すと走行します。左に回すとヘッドライトが点灯します。

☆走行とヘッドライト点灯を同時に行なう場合は、スイッチ側のリード線（ムギ球のリード線2本、モーター青コード）をスイッチの片側にまとめて取り付けます。

※しかし、この場合は電池の消耗が激しいので長時間の走行はさけて下さい。

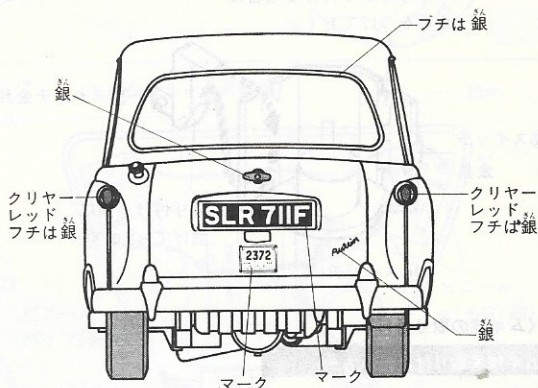
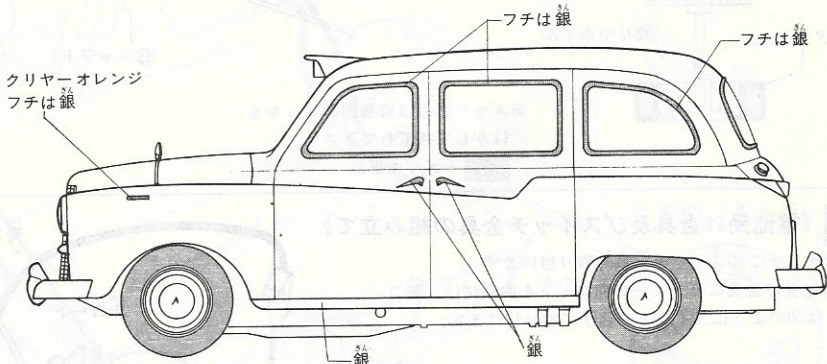
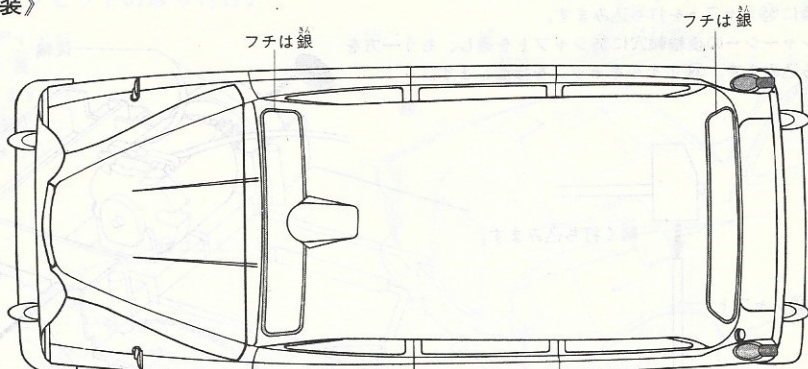
# 11 《デカール及び塗装》

●各部の塗装及びデカールを貼る位置については、図を見て下さい。

## 塗装に必要な塗料

- ① 白
- ② 黒
- ③ 赤
- F-2 黒
- ⑧ 銀
- F-12 タン
- コゲ茶
- クリアーオレンジ
- クリアーレッド

※塗りやすく、光沢のあるイマイ帆船カラーをお使い下さい。わく内の塗料番号はイマイ帆船カラーの塗料番号です。なお、うすめ液もごさいます。  
※F記号はツヤ消しカラーです。



# AUSTIN FX-4 TAXI LONDON

ロンドン名物は赤いダブルデッカー(二階建バス)と、このクラシックなタクシー・キャブ

「世界で最も美しいタクシー」といわれるロンドンのタクシー、オースチンFX-4は、クラシックな感じのする高い車高に角ばったオールド・ファッションデザイン。

ロンドンのタクシーの歴史は、馬車の時代にまでさかのぼって300年余。

オースチンFX-4が、イギリス政府から正式に「タクシー指定車」に認可されたのは1958年ですが、FX-4の基本スタイリングは、なんと21年前に登場した旧型FX-3とほとんど変わっていないのです。オースチンFX-4は、そんな、実用性を導ぶイギリス人の頑固な思想が、すみずみまでみなぎっているクルマです。

最近まで、黒一色であったボディ・カラーも、規制がゆるんで何色でも自由になりました。いまロンドン

では、赤、黄、緑、青、カラフルなオースチンFX-4が走っています。

客室は広い5座席 どでかい車体でも小廻り抜群！客室は、あの山帽をかぶったまま、ゆったりと乗りこめるほど天井高々。後座席3名に向かいあって2名分の折たたみ式補助椅子があります。後部客室と運転席の間にはガラスの仕切りがあり、料金の支払いは、降りて運転席の窓から。

運転席は高くて視界良好。車体のわりに最小回転半径は、3.8メートルという軽自動車なみの小廻りの良さ。参考までにロンドン市内のタクシー料金は、基本料金1名1/2マイルで40ペンス(約186円)。以後1/4マイルもしくは5分間ごとに5ペンス(約23円)。乗客1名増すごとに5ペンス、チップ10%程度となっています。

(昭和54年8月調べ)